

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (16)	昼夜2回の避難訓練の実施が確認できず、備蓄品の管理についても不足しており、飲料水、食料品の3日以上以上の備蓄の整備が望まれる。	常時、3日以上以上の飲料水、食料品を備蓄し、消費期限等をしっかりと管理する。	備蓄品や消費期限について、常時確認できるように、リストを作成し、避難訓練・災害訓練・BCPシミュレーションの中で確認項目にし、定期的に確認し管理する。	2ヶ月
2	4 (3)	会議の前に資料を配布するなど、運営推進会議のスムーズな開催に取り組んでいるが、参加委員からの意見や要望が議事録に取り上げられていない。参加者の意見は次の会議に繋がる大事なポイントであることから、積極的に意見を求めることに期待したい。	参加した委員が積極的に意見交流を行い、事業所への意見・要望だけでなく、様々な情報交換ができる会議となる。	参加した委員に対して、資料だけの説明に留まらず、介護保険についてや、地域間、事業所間、ご家族視点での疑問、感染症など、話題をいくつか用意して会議を行い、様々な意見が出るように取り組む。	1ヶ月
3	6 (5)	身体拘束適正化委員会や虐待防止委員会、感染防止対策委員会はそれぞれ目的が異なるため、委員会の運営や議事録は個別に運営管理されるように改善してもらいたい。また委員の構成は指針に記された委員で運営してもらいたい。	指針に記された委員によって委員会が運営され、議事録を個別に管理する。	指針を見直し、委員構成を再確認する。議事録の作成・管理を個別に行いファイリングする。	3ヶ月
4	7 (6)	身体拘束適正化委員会同様に虐待防止委員会についても運営や議事録は個別に運営管理されるべきであるため、改善してもらいたい。	虐待防止委員会も運営や議事録は個別に運営管理する。	議事録は個別に作成を行いファイリングする。委員会の運営管理についても個別に適切に行う。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。